

3月26日(日) 第二礼拝  
「春の祭り」レビ23章1-2節

父なる神様は祭り(春の祭り、夏の祭り、秋の祭り)を制定されました。御子イエスが春の祭り(過越の祭り、種なしパンの祭り、初穂の祭り)を成し遂げ、夏の祭り(ペンテコステ)では聖霊様が来られました。秋の祭り(ラッパの祭り、贖罪の日、仮庵の祭り)はイエス様の再臨のことを表します。この祭りはヘブライ語でモエディムと言い、神の霊祭であり、神様が定められた時(カイロス)です。創世記1章では“しるし”と書かれ、神様がなさろうとすることのサインです。

神様が前もって定められた時を、私たちが信じるのが大切です。信じる者にとって、この祭りは神様の定められた日(カイロス)として救われるのです。しかし、信じない者にとっては、これはただの時間(クロノス)となり、滅び(審判)が盗人のように来ます。

この祭りを成就されたのはイエスキリストです。イエスキリストは神の時間カイロスを成し遂げられました。

ヨハネ12章イエスは過越の祭りの6日前にベタニヤに来られました。過越の祭りの4日前にはエルサレムに入られます。イエス様がエルサレムに入られると神殿を掃除しました。そして、4日間大祭司などの宗教システムはイエス様を調べあげました。出エジプト記12章を見ると、同じく過越の祭りの4日前に羊を家々に入れました。白い、何の罪もない小羊が家で過ごしたように、イエス様も同じくエルサレムで過ごしました。小羊は夕暮れにほふられましたが、イエス様も、朝9時の祈りの時間から午後3時の祈りの時間まで十字架にかけられ、同じようにほふられました。大祭司は過越の小羊をほふった後、テテレスタイ(終わった、支払った)と宣言します。イエス様も十字架の上で全て支払ったと言われました。イエス様は、私たちの罪の身代わりとなり見捨てられました。「エロイ、エロイ、ラマ、サバクタニ：わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか(マルコ15:34)」。私たちが罪によって見捨てられることがないように、イエス様が罪の代価を支払ってくださいました。私たちが受けるはずの罪、呪い、病、永遠の死を、イエス様が身代わりとなり十字架で支払ってくださったのです。

祭りの完成者はイエスキリストです。イエス様はこの祭りを通して私たちに救ってくださいました。私たちがこのことを信じるなら、救いは今与えられます。救い主イエスキリストが祭りの完成者であることを信じるのが重要です。アーメン！